

多発性骨髄腫 (再発・難治性) Kd療法 (OnceWeekly) (導入)

コース目

患者ID: @PATIENTID

患者氏名: @PATIENTNAME

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
HEIGHT01_Do	WEIGHT01_Do	#VALUE!

性別 TIENTSEXN

年齢 @PAT 歳

投与スケジュール: 1コース: 28日間

使用薬剤: カルフィルゾミブ: カルフィルゾミブ 10mg/V、40mg/V
デキサメタゾン (DEX): レナデックス錠4mg

注意: 適正使用ガイドに準じる

- ※ 体表面積が2.2m²を超える患者では、体表面積2.2m²として投与量を算出すること。
- ※ Ccrが15mL/分未満となった場合には、カルフィルゾミブを休薬すること。Ccrが15mL/分以上まで回復した場合には、投与の再開を検討すること。透析を要する場合には、再開時の用量として20mg/m²を超えないこととし、また透析後に投与すること。
- ※ カルフィルゾミブについて、1サイクル目の1日目のみ20mg/m²、それ以降は70mg/m²。
- ※ カルフィルゾミブ投与時は水分摂取に努めること。
- ※ 深部静脈血栓症又は肺塞栓症があらわれることがあるので、患者個人のリスクにあわせて必要であれば抗凝固療法、検査等を行うこと。
- ※ 骨髄抑制があらわれることがあるので、定期的に検査を行うこと。
- ※ 末梢神経障害が投与開始後早期にあらわれることがあるので、注意すること。

Cre値 (mg/dl)	計算上のCCr
	#VALUE!

投与量:

薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
カルフィルゾミブ	20 mg/m ²	#VALUE!		1
薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
カルフィルゾミブ	70 mg/m ²	#VALUE!		8, 15
薬剤	投与量 (mg)		投与量 (mg)	投与日
レナデックス錠	40mg			1, 8, 15, 22

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1 1月1日 (水)

内服 レナデックス錠4mg **0錠** (カルフィルゾミブ投与の30分前に内服すること)

0時15分 ① 生理食塩液 100mL + デキサート 3.3mg
30分で点滴静注

0時30分 ② 5%ブドウ糖液 100.0mL + カルフィルゾミブ **0.0mg** + 注射用水20mL (溶解用)
30分で点滴静注

1時00分 ③ 生理食塩液 50mL
フラッシュ

Day8, 15 1月8日 (水) 1月15日 (水)

内服 レナデックス錠4mg **0錠** (カルフィルゾミブ投与の30分前に内服すること)

0時15分 ① 生理食塩液 100mL + デキサート 3.3mg
30分で点滴静注

0時30分 ② 5%ブドウ糖液 100.0mL + カルフィルゾミブ **0.0mg** + 注射用水100mL (溶解用)
30分で点滴静注

1時00分 ③ 生理食塩液 50mL
フラッシュ

Day22 1月22日 (水)

内服 レナデックス錠4mg **0錠**

REFERENCE

Philippe Moreau, Maria-Victoria Mateos, James R Berenson, et al: Lancet Oncol 2018;19:953-64

Once weekly versus twice weekly carfilzomib dosing in patients with relapsed and refractory multiple myeloma (A.R.R.O.W.): interim analysis results of a randomised, phase 3 study

2020年2月度化学療法プロトコル審査委員会承認: 2020年2月10日